



2015年 2月とよ・たちは、うさぎさんとゆきだるまさんが
楽しくあそんでいるかわいい絵です。

歌うこと、踊ること、お絵描きすることが趣味で、プールで潜るのが大好き。
幼稚園で工作やおゆうぎをするのが大好きな女の子が描いて下さいました。
今年も大好きな歌を元気にうたって下さいね!

院長はじめ スタッフ一同 心より感謝申し上げます。



医療法人 優慶誠会

豊郷たちかわ皮膚科クリニック*

私の中には「サボラー」が居る。「サボラー」とは私が命名した”怠け心”である。しかし、これと同時に私の中にはもう一つ「自分を高めたい」という心も確かに存在する。そこで H27 年（※この文章を書いているのは H26.12.30）の目標は「脱サボラー」に決定した。

では、「脱サボラー」を達成するためにはどうすれば良いか。私の中に「サボラー」が占拠する時とはいかなるときかを考えた。

それは、「妬み・嫉み・僻み・恨み・憎み」これらが心を占拠した時だと気がついた。心の中をこれらが占めた時、私は自分なんかどうせと思ひ己を歪めてしまう。こんな話がある。職業のジャンルを越え、その道の頂点を極めた方たちが一様に口にするのは「素直な人が伸びる」そう断言している。

即ち素直な人でなければ自分を高めることが出来ず、その結果運命を伸ばすことも出来ないということであろう。確かに自分を顧み、周りを見わたした時”素直な心”が無ければ正しい目を持ってないし誤った方向に進んでいってしまう。私は稲盛和夫氏の著書を好んで読むが、氏が一貫して言い続けることに「心を高めない限り経営はできない」と書いてある。このことは「素直になる」ということと相通じる。

「脱サボラー」の第一条件は素直になること、これである。第 2 にあげるのは「簡単なことを真剣に聞くこと」つまり、分かった分かった…と聞き流さないことである。

この 2 つの条件を目標に掲げるに至った経緯がある。開業以来、私は一経営者として職員を指導していこうとばかり考えていた。

しかし、最近少し考えが変化してきた。

私の患者様でもあり、ご自身も経営者である方から授かったお言葉がヒントになった。その方は私達全てのスタッフに対して「先生」とおっしゃる。そのことをたずねたらこうお答えになられた。「私の知らないことを教えて下さる人達は私にとって全て先生です」と。私は間違っていた。そしてこう思った。「指導とは教え導くことではなく、教え導かれることである」と。

院長・拝